

第3期宮前区区民会議 第8回活力づくり部会

～ 地域特性をコミュニティづくりに活かそう ～

日時：平成23年7月7日(木)18:00～20:00

場所：宮前区役所第4会議室

次 第

- 1 前回の振り返り
- 2 坂道マップづくりに向けた検討
- 3 坂道マップを活用したイベント等の検討
- 4 その他

【配布資料】

- 資料1 第5回区民会議の資料イメージ
- 資料2 第7回活力づくり部会 摘録(案)
- 資料3)坂道マップコース (案)

参 考 坂道マップづくりに向けた議論ペーパー (前回資料)

～地域コミュニティの活性化に向けて～

第5回 宮前区区民会議

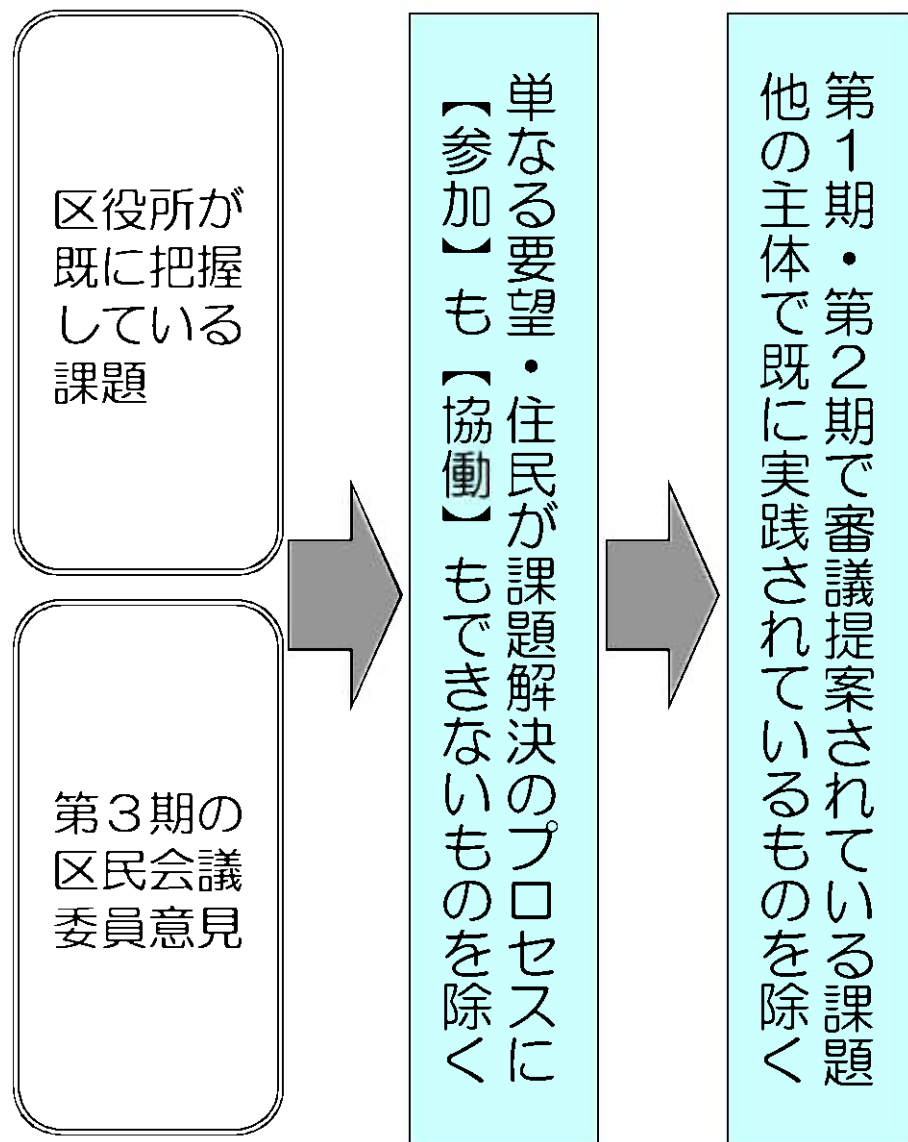
平成23年8月2日



第3期宮前区区民会議

テーマの絞り込みと選定

課題の把握 ⇒ フィルタ×2 ⇒ 審議テーマ



宮前区…都市型コミュニティの問題

- 都心直結、典型的な近郊住宅地
- まちのコアとなる商業集積地がない
⇒「川崎都民」になりやすい地域
- 瀬戸際の地域コミュニティ
 - ・固定化・高齢化する担い手
 - ・自分以外の「誰かがやる」という感覚

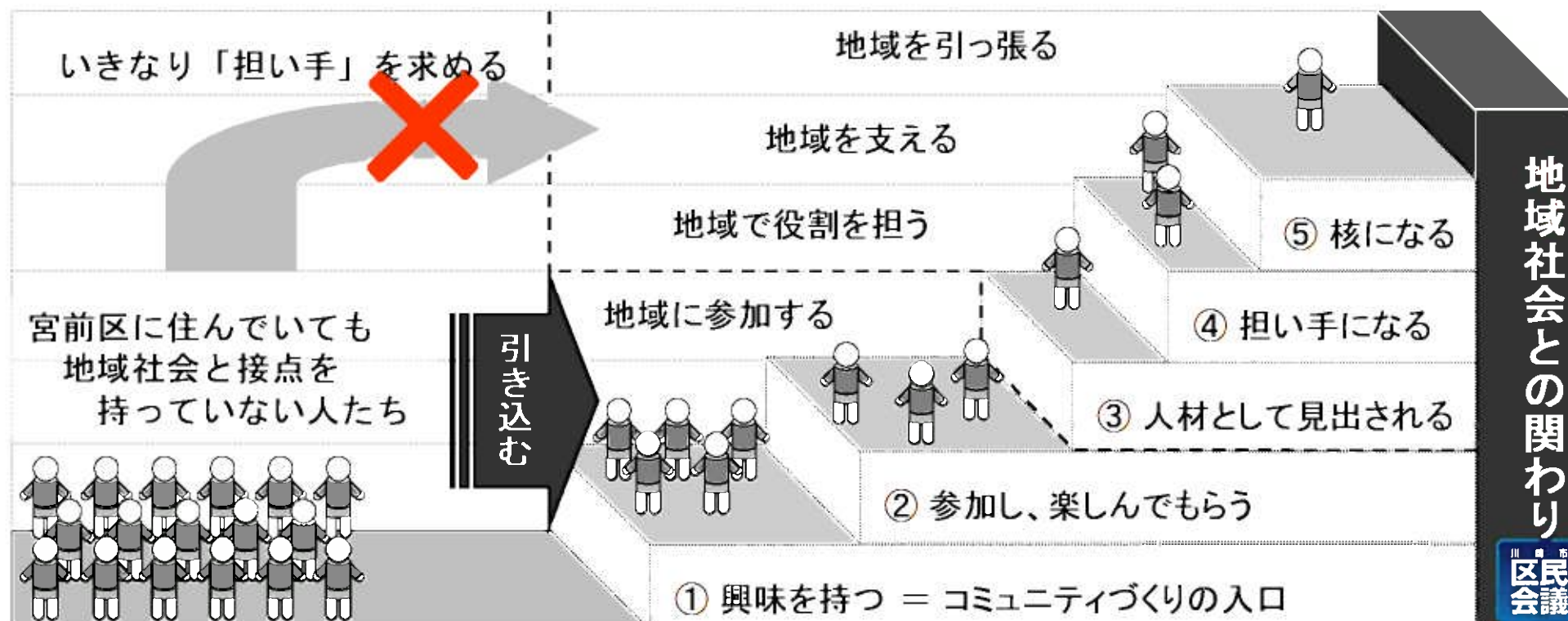
コミュニティづくりに
宮前区らしさを活かす

～宮前区を「住む」から「暮らす」場所に～

「東急沿線で、宮前区という場所に
たまたま住んでる」という住民意識を
「私たちは宮前区で暮らしてる」と変え
ゆるやかでも良いから
地域社会に参加する人を
増やしていく方法を検討する

地域社会への参加から始めよう

- ◆地域社会をより良くするには、多くの住民が担い手として関わる必要がある
- ◆地域社会と関わりを持たずに、ただ住んでいるだけの住民が大多数を占める現状いきなり「担い手」のレベルを求めても、その人たちは逃げてしまう
- ◆まずは地域へ興味を持ってもらうこと、参加し楽しんでもらうことから始め、地域社会としての裾野を広げることが重要では？



「住む」から「暮らす」に

住民意識を「住む」から「暮らす」に変化させていくために…

住んでる ⇒ 気付く ⇒ 参加する ⇒ 地域と関係を築く ⇒ 暮らしてる

宮前区には
住んでるけど
自分の生活は
あんまり
関係ない

宮前区でも
なんだか
面白いこと
やってるな

参加したら
意外と楽しい
宮前区も
ちょっと
いいかも

まちのことを
知ってくる
—————
地域に知り合
いが増える

宮前区に
愛着が湧き、
ゆるやかに
地域社会に
参加していく

まちの特徴や
区内の産物を
活用し上手に
興味を引く

×

思わず参加
したくなる
仕掛けづくり

×

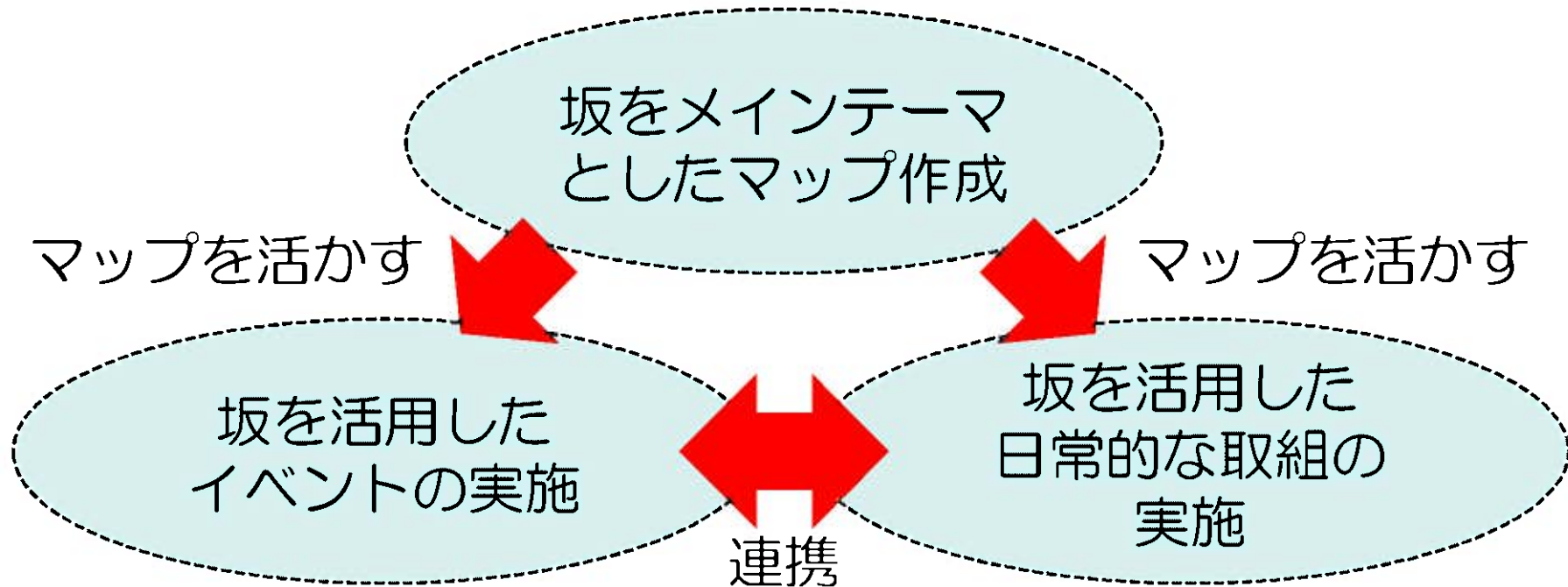
住民の交流を
促進する
仕掛けづくり

=

区民会議で
検討する内容

1. 活力づくり部会の検討の軸

坂道をメインテーマとする



目標：宮前区に愛着をもち、地域への参加を促す

2. 坂道を活用した取組例 1

■坂道ウォーキングのすすめ（目黒区）

- 坂道をテーマにし、7テーマに沿ったコースを紹介
- 坂道ウォーキングのアドバイス
準備体操・整理体操についても紹介
- オリンピックで活躍したマラソン選手（東海大宇佐美名誉教授）のコメントを掲載
- 1冊200円で販売中だが、メディアにも取り上げられ、行政の刊行物としては異例の売れ行き



2. 坂道を活用した取組例 2

■ZAMA坂道マラソン（座間市）

- 坂道を活かしたマラソン
- 走る距離によって3つのコースをつくり、幅広い世代を対象にしている



3. 今年度の検討経過

第6回：平成23年4月25日（月）

- ・（仮称）坂道ウォーキングマップづくりに向けた論点整理
⇒コンセプト、対象とする坂道、コース設定など



第7回：平成23年5月24日（火）

- ・委員が作成した坂道ウォーキングコースの報告
- ・マップのコンセプトやコース設定、掲載情報など



第8回：平成23年7月7日（木）

- ・マップのコンテンツ（コース、目次・主な項目）
- ・マップを活用したイベントやPR
- ・制作体制

4. 検討状況 ～坂道マップのコンセプト～

■コンセプト

- ・坂道というマイナスをプラスに
- ・坂道を歩いてもらうきっかけづくり、健康づくり
- ・坂、自然、のどかさ
- ・手ごろな大きさ、薄さ

■対象とする坂道

- ・標識があり、名前がついている区内18の坂道

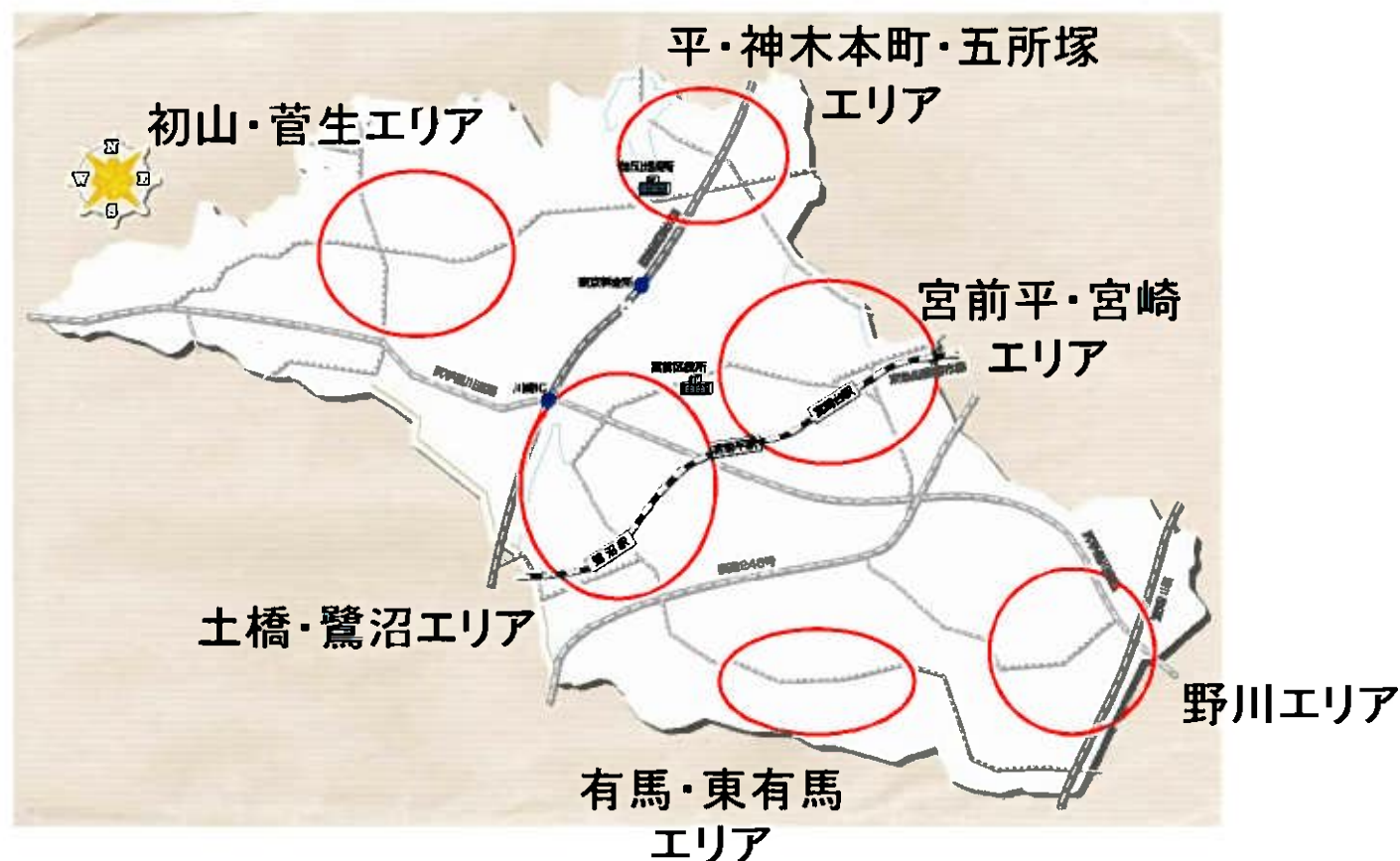
約10年前に、公募によって坂道の愛称を制定
(昔からの呼び名を持つ坂道も含む)。
それらの坂には命名の由来を記した標識を設置



4. 検討状況 ～坂道マップの骨子①～

■坂道ウォーキングコース

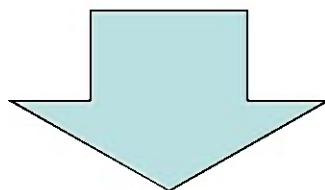
- ・区内を6つのエリアに分け、全体として18の坂道を通るようにコース設定



4. 検討状況 ～坂道マップの骨子②～

■各ウォーキングコースの地図・解説

坂道ウォーキングに必要な情報、
より楽しく歩くための情報を簡潔にまとめる



- 坂道データ（歩数、長さ、高低差）
- 公園、トイレ、休めるところ
- 地域の資源（自然、歴史、景色など）
- 分岐点のポイント
- バス停（途中の参加、中止のため）

4. 検討状況 ～坂道マップの骨子③～

■健康づくりに関する情報の掲載

- ・ 坂道の歩き方について
掲載する
(膝の曲げ具合や呼吸法など
右図のようにする)
- ・ 坂道を歩いたときなどの
消費カロリーを表示する

■坂道ウォーキング準備

- ・ 服装や持ち物
- ・ 準備体操



4. 検討状況 ～坂道マップの骨子④～

■関連情報

- 区内18の坂道データ集
- バス路線図
- 区内ウォーキング活動紹介
- スタンプシール貼り付けコーナー
-

5. 検討状況 ～坂道を活用したイベント等～

■坂道ウォーキング大会

-

■坂道スタンプラリー

-

■坂道ウォーキング講座

-

6. 検討状況 ～坂道マップのPR～

- 著名人（キャラクター）の協力を得てPR
⇒例えば、川崎フロンターレ選手やふろん太くんなどが坂道マップに登場など
- 健康講座・診断、公園体操、スポーツ施設など
様々な機会・場所で配布
- 宮前ぽーたろうの活用などに特設コーナーを設置し、
クチコミでPRやコミュニティの輪を広げる
-

8. 検討状況 ～坂道マップの制作体制～



•

第3期宮前区区民会議 第7回 活力づくり部会 摘録（案）

日 時 平成23年5月24日（火）15:00～17:10

場 所 宮前区役所 地域振興課奥会議室

参加者 委 員 山下委員長、直本副委員長、佐藤部会長、大村委員、藤田委員、
豊島委員

恒川副委員長（オブザーバー）

事務局 雨宮係長、白石職員

阿部コンサルタント

1 前回の振り返り

- ・ 前回の摘録（案）の確認。

2 坂道マップづくりに向けた検討

1) 委員が作成した宿題（設定したルートを歩いた感想）の報告

- ・ 各委員から宿題の発表（下記に発表時の主な感想を整理）。

【野川周辺】

野川第4公園～権六坂～稲荷坂～くぬぎ坂～勸進坂～梅の木坂～野川第3公園

（担当：佐藤部会長）

- ・ 南野川ふれあいの森周辺は緑が生い茂り、午前中でも暗く一人で歩くのは危険。
- ・ くぬぎ坂は暗く、昼間がいいが、夜ひとりで歩くのは怖い。
- ・ 坂も緑もあり、休憩場所も大型スーパー、大きな公園、コンビニエンスストア等が点在しており、困らない。

上野川バス停～梅の木坂～権六坂～いどくぼ坂～くぬぎ坂～野川小学校バス停

（担当：直本副委員長）

- ・ 権六坂は竹やぶや植木屋があったり緑が豊富。筍の成長過程がわかる。季節ごとに見る楽しみがある
- ・ スタートとゴールにスーパーがあったし、途中公園もあり、休むところは豊富。
- ・ くぬぎ坂は山道気分を味わえる急な坂道。ただし、人家がないので、痴漢注意の看板があり、暗くなったら女性が通るのは危険だが、気持ちよいところだった。
- ・ 鉄道駅から来るのがそもそも大変。

【宮前平駅周辺】

宮前平駅～八幡坂～富士見坂～宮前平駅（担当：直本副委員長）

- ・ 富士山が見えるコースであり、感動的。

宮前平駅～白井坂～島坂～巴坂～菅生分館（担当：藤田委員）

- ・ スタートは駅がいい。ゴールの菅生分館は一番バスが通るところ（蔵敷）。
- ・ ゴール近くは平瀬川河川敷があり、ゆっくり休むことができる。（コースにいれるかどうか）
- ・ 白井坂までバスで来ることができる。

第3期宮前区区民会議 第7回 活力づくり部会 摘録(案)

- ・スタートから平瀬川までは何も無い。平瀬川付近は緑や生産緑地がある。
- ・コンビニがあるが、公衆トイレはない。

【宮崎台周辺】

宮崎台駅～庚申坂～長坂～さくら坂～堂脇坂～宮崎台駅(担当:直本副委員長)

- ・さくら坂、堂脇坂は大きな通りで、さくらや商店街があるが、庚申坂、長坂はこれといった特長がない。

宮前平駅～泉福寺～梶ヶ谷第三架道橋～馬絹神社・古墳～梶ヶ谷第一公園～川崎市青少年の家～庚申坂～宮崎台駅(担当:恒川副委員長)

- ・遺跡や緑を見たり、坂道を通るルート。
- ・泉福寺は馬頭観音やイチョウがある。トイレもある。
- ・泉福寺から歩くと適度にアップダウンがある。
- ・梶ヶ谷第三架道橋のトンネルアートは見どころのひとつ。

【鷺沼駅周辺】

鷺沼駅～カッパーク鷺沼～日本精工ランド脇～鷺沼北公園～宮前美しの森・美しが丘公園～鷺沼公園～春待坂～鷺沼駅(担当:佐藤部会長)

- ・夜歩くことを想定したコース(カッパーク鷺沼は夜閉園)。
- ・日本精工ランドは芝生となっており、皇居の周りのようにウォーキングやランニングしている人が多い。しかし、歩道がないところもあり、歩行者には少し危険。
- ・その後住宅街を通る。見渡しが良く、モザイクモール港北の観覧車が見え夜きれい。人がわざわざ通ったり、撮影をしているところでもある。
- ・鷺沼北公園から東京タワーがみえる。インターネットの夜景おすすめサイトで夜景がきれいという評価を得ている。初日の出や花火大会を見る場所になっている。
- ・犬蔵に抜けるトンネルには犬蔵中学校作成の壁画がある。夜は少し怖いところ。
- ・美しが丘公園は花見の時期ににぎわいがあり、子どもが室内で遊べるロケットハウスという施設があり、宮前区から利用しに行く人も多い。
- ・公園からたまプラーザ方面にいくと、鷺沼駅まで続く桜並木の坂を通り、最後に春待坂を通る。

→春待坂という名前は日が当たらないから春を待っていたということから付いたらしい。

- ・鷺沼公園は緑が多すぎて、足元が夜はよく見えない。夜を想定したが、夜には不向きなコースかもしれない。ただ昼でも景色がいいし、鷺沼商店街やフロントタウンもあり、るので、イベント時には協力を得られそう。
- ・結構アップダウンがあるコース。

有馬・野川生涯学習支援施設アリーノ～日向坂～つつじ公園～国道246号～旧246号～鷺沼小学校～有馬川沿川～神明坂～アリーノ(担当:豊島委員)

- ・曲がり角の目印でお店を使うのは良くない。お店は変わることがあるし、宣伝にもなってしまう。

→酒屋などの表現でいいのではないか。

- ・つつじ公園はトイレがある。公園近くは老人いこいの家、こども文化センターもある。

第3期宮前区区民会議 第7回 活力づくり部会 摘録(案)

- ・国道246号から旧246号に向けて、心臓破りの坂道がある。
- ・旧246号沿い、鷺沼小学校から神明坂まではつまらない。
- ・神名神社から福王寺を見る景色がいい。イチョウがよい。

【平周辺】

向丘出張所～たいら坂～鶴喉坂～見晴らし坂～鯉坂～柿木坂～東高根森林公園

(担当：浦野さん)

柿木坂～鯉坂～見晴らし坂～鶴喉坂

(担当：谷山さん)

※いずれも藤田さんが代理説明

- ・たいら坂は急な坂道。
- ・等覚院は立ち寄れるといい。
- ・見晴らし坂の上にある五所塚からの富士山がいい眺めである。まちの上に富士山が見えるイメージ。
- ・区外になるが妙楽寺(あじさい寺、多摩区)がある。
- ・コースとしては森林公園の中を通った方がよい。公園脇の坂道はお勧めできない。

【その他】

宮崎台～宮崎台小学校～王禅寺道～六兵衛坂～たいら坂～鶴喉坂～神木本町交差点

(担当：山下委員)

- ・名前が付いていない坂道でも良い坂道がある。
- ・薬研坂～聖マリアンナ医科大学～権現坂～矢道ノ坂～巴坂～蔵敷橋(担当：山下委員)
- ・マリアンナ医科大学へ登る坂道が急である。
- ・一の丸など歴史地図には出ていない坂道もある。
- ・宮崎台駅～さくら坂～長坂～庚申坂～八幡坂～小台坂～鷺沼駅(担当：山下委員)
- ・矢倉坂沢往還を主体としたコース。
- ・宮前平駅～宮前区役所～白井坂～島坂～八幡橋(担当：山下委員)
- ・宮前平駅から白井坂、島坂をつなぐコース。

2) 議論ペーパーに基づいた議論

(1) マップの使い方について

(日常的な利用を想定したものか、休日の時間があるときの利用を想定したものか。)

直本 徒歩の時間の表現は休憩時間や寺社仏閣を見る時間を入れている人もいます。それらは人によって違う。そういう時間を入れた時間か、入れない時間か。どちらかに統一したほうがよい。

藤田 最終的には休憩なしの時間なのではないか。

直本 区内で生活している人が近くの坂道をうまく生活に取り入れて散歩できるようになってほしい。コースをつくったときに1時間30分程度のコースの中に、ショートカットコースをつくり、ご近所でも歩くコースがあることをアピールしてもよい。

第3期宮前区区民会議 第7回 活力づくり部会 摘録(案)

佐藤 ショートカットコースは日常的、ショートカットしないコースは上級者向きといったように、ひとつのコースの中に複数のコースがあるといいということか。

藤田 自分の家の周りを歩くものなら、マップはいらない。(私が知らない)野川の方に行こうと思うときにこういうマップがあるといい。

歩いている時に資料として持っているのはマップだけになる。マップは半分で折り曲げて持つ。宮前区ガイドマップの厚さでは折り曲げることはできない。

目黒区マップの「坂道を歩いて見ませんか?」という呼びかけは非常に魅力的。33の坂道を全て制覇できるという呼びかけ。手にとってもらうためにはこういうコンセプトがいい。

目黒区のマップは目黒川や歴史的なお寺があるが、ある程度情報を絞ってマップをつくっている。紹介したいコースはいくらでもある。体裁を考えると、情報を絞り込んでいったほうがよい。

直本 藤田さんの意見に賛成する。名所・旧跡が坂道の近くにあればいいが、少し遠回りになるようなことは避けたほうがよい。

藤田 目黒区のマップは曲がり角が分からず、不親切だが、情報を削っているので、見やすい。

大村 マップをつくるなら、名所・旧跡も入れたほうがよい。坂道だけでは面白くない。公園や寺社仏閣の情報も入れたほうがよい。

佐藤 日常的に取り組む場合、時間はどれくらいだろうか。

大村 町会のシニア団体で毎日ウォーキングをしているが、往復2時間程度歩いている。

藤田 2時間は半日コース。ちょっと行くというのは1時間くらい。2時間になると、休憩して昼食をとることもある。コース紹介をするのであれば、1〜2時間をとったらどうか。2時間歩かなくても途中で切り上げればよい。

恒川 ウォーキングを中断できる場所を選んだほうがよい。

佐藤 コース中にバス停を通ったり、ショートカットコースをつくるということか。

藤田 30分程度のコースでは紹介するのがもったいない。

直本 コースを短くまとめたとしても、そのコースをつなげていけばよい。

恒川 散歩は2時間を目安にする。歩数で言うと12,000歩くらいが限界だと思う。

佐藤 初心者であれば、30分でも行ってみようと思うし、健脚の人であれば、2時間ですっきりする人もいる。日常的な取り組みは年齢層や人によって大きな違いがある。ひとつのコースでバス停をいれたコースをつくったり、30分のコースがあると助かる。2時間までいかないコースで考えて、半分にもできるようにするのはどうか。

直本 目的地があれば、2時間を越えても問題ないが、そういうものがなければ最大2時間ではないか。

山下 30分、1時間で帰れるポイントには目印を付けたほうがよい。

佐藤 最大2時間にして、ショートカット等を盛り込んでいくこととする。

(2) 対象とする坂道とエリア設定について

(名称のある18の坂道を対象とするか、5エリアの設定するか)

大村 坂道ということだけでなく、景色が良いということなどを重点にしたほうがよい。

第3期宮前区区民会議 第7回 活力づくり部会 摘録(案)

山下 18の坂道以外にも坂道はある。新しい坂道もある。

恒川 マップの目的は坂道を歩くという目的意識があるという前提で考える。駅やバス停の位置や宮前区で知ってもらいたいものを紹介するということを考慮すれば、自然にエリアは絞られていくのではないかな。

藤田 坂道に絞るしかないのではないかな。坂道はあらゆるところに限りなくある。

山下 坂道のない空白地帯がある。

藤田 空白地帯は名前のついている坂道がないだけ。

佐藤 目黒区も空白地帯がある。区民会議のマップづくりとしてどうしていくか。時を同じくして宮前区のガイドマップが改定され新しいものができるので、それとコンセプトを別にしたほうがよい。

藤田 宮前区ガイドマップは景色がよい、歴史などを取り入れたコースがある。こちらは坂道を主体としないといけな。

佐藤 こっちも入れたい、あっちも入れたいではコンセプトがずれる。

直本 コースからはずれたところの紹介は、コースに組み入れるのではなく、少し説明する(ここの先をまっすぐいくと〇〇程度の紹介)ぐらいでよいと思う。メインはあくまで坂道に絞る。

名前のない坂道を紹介するには名前をつけないといけな。

藤田 これまでの蓄積を活用すべき。宮前ぼーたろうでは18の坂道について説明したページがある。

佐藤 18の坂道を対象にすれば、看板があるので分かりやすい。区内にはいろいろ地図があり、情報を網羅しようとしているが、今回は坂道で考えている。18の坂道を基本としながら、その周辺にある寺社仏閣等を入れてあげる程度にしたほうがよいのではないかな。

豊島 歴史や緑といったテーマでコース設定すればいいのではないかな。それがコースの魅力になる。

藤田 それは今後決めていけばいいことではないかな。

直本 今後紹介したい情報があれば、今後追加していけばよい。

藤田 エリアは5つにまとまらと思う。野川・蔵敷・平周辺はバスが必須。マップにバス情報を入れたほうがよい。宮前歴史ガイドにあるようなバス情報を入れたほうがよい。マップの厚さは目黒区のマップくらいが限界。

佐藤 18の坂道に限定し、イベントや日常的な取り組みを仕掛けていくときに面白みがあるかどうか。マップとしてのコンセプトは日常的な取り組みやイベントとの関わりを検討していく中で追加修正があると思う。基本として18の坂道を対象に5エリアを基本として考えていきたいがどうか。

直本 5コースでは少ない気がする。7、9コースくらいあったほうがよいかな。

藤田 目黒区のマップには夜のコースがあるが、目黒区だからできるコースで宮前区ではつくれないと思う。

佐藤 夜景がきれいなところは、一人で歩くのは嫌だが、カップルや夫婦で歩くコースとして今日紹介したコースがある。

直本 夜のコースは夜楽しめる場所がないと厳しいのではないかな。

第3期宮前区区民会議 第7回 活力づくり部会 摘録(案)

豊島 月に1回パトロールするが、宮前地区はきれいだが、向ヶ丘地区は真っ暗である。

藤田 これからアイデアがあれば考えればよい。

佐藤 夜歩いた感想としては一人で歩いているのは男性。10人程度ウォーキングしている人とすれ違った。結構夜歩く人も多いと感じた。

5 エリアの中で日常的な取り組み、イベントを仕掛ける上でどのような取り組みやイベントがあるか、誰にどんなメッセージを発信するかなどを検討していきたい。また宿題を出したいと思う。

区 次回全体会で各部会の検討内容を報告したいと考えている。全体会までに1回程度部会を開催するので、宿題を出したいと思っている。

コースについては再度議論すると大変なので、個別に歩いた人と相談・調整し、コースをアレンジし、たたき台をつくる。それに対して意見をもらうこととしたい。

山下 運動のアドバイスや準備体操はどうするか。

区 保健所の保健師にアドバイスをもらう、学識経験者にヒアリングするなどが考えられるが、今後検討する。

坂道ウォーキングマップ コース(案)

●野川エリア (約5km)

コース	ポイント
野川第4公園	スタート、トイレ
権六坂(2)	
いどくぼ坂(22)	
くぬぎ坂(1)	
勧進坂(24)	
野川神明社	トイレ
花井坂(25)	
影向寺	
西蔵寺	
JA野川直売所	
梅ノ木坂(3)	
野川第3公園	ゴール

●有馬・東有馬エリア (約4.5km)

コース	ポイント
アリーノ	スタート、トイレ
有馬神明神社	
福王禅寺	
神明坂(5)	
長善寺	
日向坂(4)	
下有馬不動尊	
アリーノ	ゴール、トイレ

●宮前平・宮崎エリア (約5.5km)

コース	ポイント
宮前平駅	スタート、トイレ
堂脇坂(7)	
さくら坂(6)	
長坂(14)	
庚申坂(16)	
王禅寺道	
宮崎第4公園	トイレ
八幡坂(17)	
宮前平駅	ゴール、トイレ

●土橋・鷺沼エリア (約6km)

コース	ポイント
宮前平駅	スタート、トイレ
富士見坂(8)	
王禅寺道	
白井坂(18)	
花壇・正福寺	
鷺沼北公園	
日精工運動場	
春待坂(9)	
小台坂(32)	
宮前平駅	ゴール、トイレ

●平・神木本町・五所塚エリア (約3.5km)

コース	ポイント
向丘出張所	スタート、トイレ
東名神木公園	トイレ
柿木坂(33)	
鯉坂(34)	
見晴らし坂(11)	
鶴喉坂(10)	
たいら坂(12)	
向丘出張所	ゴール、トイレ

●初山・菅生エリア (約4km)

コース	ポイント
蔵敷交差点	スタート、トイレ(周辺)
平瀬川沿道	
島坂(15)	
生田緑地周遊散策路	24年度に完成予定
生田緑地南遊園	トイレ
権現坂(37)	
天道ノ坂(36)	途中で切れてる？
巴坂(13)	
蔵敷交差点	ゴール、トイレ(周辺)

ガイドブックを持って、まちに出よう！
そこで見つけたお気に入りのスポットを書き込んだり、
歩いた道を塗りつぶしたり、この白地図の使い方は自由。
自分だけの地図をつくりあげよう！

約2万4千㎡

200m 1000m



宮前区ガイドブック (付図)
平成10年3月 初版 発行
平成15年3月 改訂第2版 発行
平成18年9月 改訂第3版 発行
平成20年7月 改訂第4版 発行



マップづくりの例

- 自分なりのお散歩テーマを決め、関連する場所と情報を書き込む。オリジナルの地図記号をつくってもおもしろい。
- 訪れた場所、出会ったこと、気づいたことを順番に書き留めてみる。新しい物語が生まれるかも…
- スクラップブックのように、とにかく書き込んだり貼ったりしていく。スペースがなくなるほど書き込めば、あなたもりっぱな宮前区通！



坂道マップづくりに向けた議論ペーパー

参考（前回資料）

●は、これからの議論のポイント

項目		主な意見とこれからのポイント
①コンセプト 【優先度 A】		・坂道というマイナスをプラスに ・高齢者が元気で暮らせるまち ・坂や自然、のどかさ ・手ごろな大きさ、薄さ ・坂道を歩いてもらうきっかけづくり、健康づくり ●マップの使い方（日常的に、休日の時間のあるときに…）
タイトル 【優先度 A】		・人の目を引く、コンセプトを明確に ・メインタイトルとサブタイトル ●「生き生き住民、行く往く坂道」など、仮称でも…
②対象とする坂道 【優先度 A】		・標識があり、名前がついている 18 の坂道 ・他の良い坂があれば追加する ●坂を組み合わせて、現在の 5 エリアからのアレンジ
③コース 【優先度 A】	スタート ゴール	・交通の便の良いところ（バス停、鉄道駅） ・トイレがある所（公園、区役所、こども文化センター、いこいの家等）
	コースの テーマ	（ アイデアとしては、景色の良いコース、子どもと外出コース、夜景コース、四季を感じるコース、女性向けコース、高齢者向けのコース、歴史コースなど ） ●実際に歩いてコースごとにテーマを設定
	掲載情報	【自然資源】公園、河川、梅、桜 【歴史資源】寺社、地蔵 【生活資源】商店街、昔からある・特色ある店舗、橋 【休憩施設】ベンチ、トイレ 【その他】バス停（ウォーキング途中で帰ることができる）、曲がり角の目印（どこで曲がればよいかの目印）、坂道周辺のイベントなどの情報、団地 ●「手ごろな大きさ、薄さ」とのバランス
	その他	・距離の短いコースがあるとよい ●マップの使い方（日常的に、休日の時間があるときに…）
④健康づくり 【優先度 B】		・膝の曲げ具合や呼吸の方法などの坂道の歩き方 ・消費カロリー（算出方法の記載） ・詳細な坂道情報の掲載（歩数データ、坂道の長さ、高低差） ・筋力がつくとイメージを伝える内容

項目	これまでの主な意見
⑤制作の手順 【優先度 A】	・地図上でコースづくり ・実際に歩く。部会で 5 班に分かれ区内の坂巡り ・健康運動普及員、ウォーキングクラブ、体育指導員、町会などと連携 ●原稿を作成し、編集していく体制
⑥PR、イベント 【優先度 B】	・坂道の標識を携帯電話等で写真を撮る ・クイズでホームページなどのある坂の写真と同じ写真を撮る ・スタンプラリー（ポイントに人がずっといられない） ・著名人（フロンターレの選手等）による紹介、おまけ DVD ・マップに掲載する坂道写真の募集（作成段階から PR） ・マップのガイド役に「ふろん太くん」 ・クチコミで広げる ・さまざまな機会・場所で配布（健康講座、健康診断、赤ちゃん検診、スポーツクラブ、公園体操、ペットショップなど） ・宮前ぽーたろうなどで特設サイトを設置し、歩いた人の感想などを書き込めるようにする ・スポンサーをつける ・坂の特徴を活かした名前・愛称をつける ●イベント ⇒ 担い手やマップの活用を想定 ●PR ⇒ 誰に、どんなメッセージを、どう伝えるか
⑦ビジュアル 【優先度 B】	・写真が重要。まちづくり協議会が募集する写真の使用 ・素敵だと思わせるような書き方 ・あまり文字を多くしない ・坂道の立体的データやマップの表示
⑧デザイン 【優先度 B】	・カッチャン（カッパーク鷺沼イメージキャラクター）や三つ葉マークなど、ポップな感じ
⑨その他	・目黒区マップと同じような構成にする（1 コース 4 ページの構成） ・フロントウンと協力（血圧測定、ウォーキングのための更衣室の利用） ・坂道の近くの住人から坂道ガイドボランティアを募集 ・地参知笑部会との連携 ・ワンポイントアドバイス、クイズ、お知らせなどを入れる